

糖尿病・慢性腎臓病を併存症にもつ患者への 栄養管理実施割合

【指標の説明】

入院時に提供される食事には、通常食と治療のために減塩や低脂肪などに配慮した特別食があります。糖尿病や慢性腎臓病の方にとっては、食事も重要な治療のひとつです。これらの治療を主な目的として入院した時に特別食が提供されるのは当然ですが、他の疾患で入院した際にも併存症に配慮した特別食が提供されることは医療の質の向上につながります。

【定義】

日本病院会「Qプロジェクト」に準じています。

分子 分母のうち、特別食提供数

分母 18歳以上で糖尿病や慢性腎臓病であり、それらの治療が主目的でない入院症例の食事数

